

祝

アジア大会 24年ぶり銅メダル獲得



インドネシアのジャカルタで開催された2018年アジア大会で、レスリング男子グレコローマン130キログ級で日野町徳谷出身の園田新選手(ALSOK)が銅メダルを獲得しました。同級グレコローマンのメダル獲得は、1994年広島大会の鈴木賢一選手以来で24年ぶりの快挙です。

9月8日(土)、園田選手の母校である日野高校で、レスリング教室が開催されました。子ども達が園田選手と直接接し、「夢」や「目標」を持つことを目的として、日野レスリングクラブが主催。5〜15歳の子も達約50人が参加。子ども達は、マット運動やタックル、スパーリングなどの練習をされました。

園田選手は、子ども達にアジア大会でのメダル獲得を報告。「真面目に毎日レスリングをやることによって強くなっていきました。皆も最後まで諦めずにやれば絶対に強くなれます。一緒に頑張りましょう」と話されました。

スパーリングで園田選手に果敢に挑戦する子ども達

園田選手にレスリングを教わりました

～感謝と決意を胸に～

9月6日(木)、役場で銅メダル獲得報告会が行なわれました。約70人が出迎え園田選手を祝福。花束が贈呈されました。園田選手は「皆さんの応援のおかげです。東京オリンピックに必ず出場して恩返しできるように頑張っていきたいと思えます」と感謝と決意を述べられました。その後、藤澤町長らと歓談が行なわれました。

●試合の時に考えていることは？

何も考えないようにしています。カーツとなると、いつもと違うことをしてしまうので、点数をとられた時も、とった時も、落ち着くよう意識しています。

●試合時間は気にしていますか？

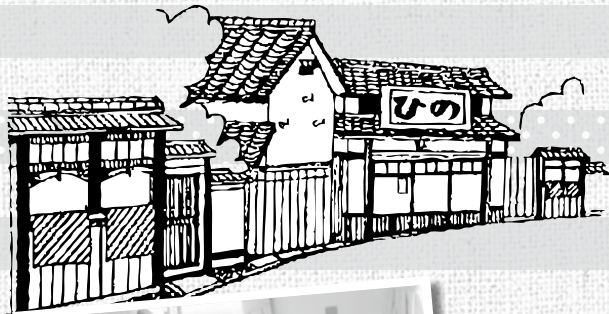
時間も気にしないようにしています。今まで試合をしてきた中で、勝っている時に「あと何秒やし守ろうかな」という気持ちになってしまうと、点数をとられることが多かったからです。時間は気にせず、最後まで同じことを繰り返すことが大事だと思います。

●こういった練習をされていますか？

国内では練習相手があまりいないので、例えば、10分スパーリングで同じくらいの体格の人を1分だけ相手を変えてするなど、工夫して練習をしています。自分を追い込むような練習をいっぱいやります。これだけ練習したから大丈夫という自信にもなりません。海外選手との体格の差などをカバーできるように、毎日立てなくなるまで追い込んでいます。



園田選手(24)は日野高校、拓殖大学を経て現在はALSOKに所属。全日本選抜選手権では5連覇をするなど、国内で圧倒的な強さを誇ります。



楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当
(役場1階・町長懇談室 ☎0748-52-6550)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!

人気の給食メニューに親子でチャレンジ 親子料理教室

8月8日(水)、桜谷小学校で親子料理教室が行なわれました。

町内の小学3年生以上の児童と保護者、合わせて約30人が参加。給食調理員さんの説明を聞き、グループに分かれて調理を行ないました。メニューは給食のビビンバ、給食のわかめスープ、夏野菜のサラダ、バナナクッキー。

フライパンで焼いた薄焼き卵をひっくり返すと「おー!」「上手!」と言って拍手をするなど、皆さん楽しそうに調理していました。

クッキーうまく焼けるかなー?



上手にひっくり返せた!



本を読んで、遊具を作って、楽しく遊んで 図書室まつり — 日野小学校 —

8月22日(水)、図書ボランティアの皆さんが中心となって「図書室まつり」が開催されました。児童約60名が参加。図書ボランティアはPTAのサークルで、図書室の装飾などを行なわれているそうです。

まつりでは、絵本『びゅんびゅんこまがまわったら』の読み聞かせ、びゅんびゅんこまづくり、カーリングなどを楽しみました。紙とタコ糸で作ったびゅんびゅんこまが完成し、こまが回ると子ども達は大喜び。「こまが三角でも回るのかな?」「目で回せるかな?」と話していました。

また、ダンボールとビニール袋で作ったカーリングで大はしゃぎ。カーリングを終えた子ども達は「おもしろかった」「めっちゃすべった」と話してくれました。

絵本『びゅんびゅんこまがまわったら』の世界に夢中!



まわったー!

天下の奇祭(国の重要無形民俗文化財) 近江中山の芋競べまつり

9月2日(日)、中山の熊野神社・野神山で「近江中山の芋競べまつり」が行なわれました。

この祭りは、町内で唯一、国の重要無形民俗文化財に指定されており、850年以上の伝統を持っています。中山東と中山西の各家で栽培された里芋の中で、最も背の高い里芋の長さ(芋から葉の先まで)を競います。

お祭りでは、それぞれの地域を代表した山若と呼ばれる株姿の若者たちが、「定尺」と呼ばれる長さ一尺の木を用いて、酔ったような動きをしながら何度も測り合います。

西が勝てば豊作、東が勝てば不作と伝えられています。今年、西の芋が長く、豊作の年となりました。

里芋の長さを測る“芋打ち”

